

# Topics Fantastic! Agri Life

まちなかで「農」に触れよう



親子で農園に。子どもたちは土の中の虫探し♪(練馬区白石農園)

二〇〇九年三月発行

第十六号

大好き  
みどり

やっぱり

## みんなで大切に思い、守る、魅力あふれる農地

練馬区にはふつうの区民農園に加えて、プロの農家の確かな手ほどきを受けながら野菜作りができる「体験農園」が14カ所あります。自分の好きな野菜を自由に育てる区民農園とは異なり、農園主の指導に基づいて育てるため、よく育つことはもちろん、この列はキャベツ、その隣の列はネギ、という具合に、畑の景観としても美しく見えることが、大きな特徴のひとつです。

このスタイルは都市の農地を残すための知恵の結集によって生まれたものですが、市街地にある農地を守るためには、周辺に暮らす人々の「ここに畑があってよかった」という理解と協力が不可欠。白石農園では畑でコンサートを開いたり、畑の一角に建てたレストランで、採れたての野菜をふんだんに使った料理を提供したりと、豊富なアイデアで「農地」の魅力を最大限表しています。



練馬区体験農園の先駆けのお一人である、白石さん  
軽快なトークで人と畑をつなぎ、育てます

## 大田区にもまだ残されていた、貴重な農地

大田区はすっかり開発されてしまって、農地なんてないのかしら？と思っていたら…ありました！住宅地の中に立派な農地が！しかもここでは落ち葉を集めて、丁寧に時間をかけて堆肥作りをして畑にすき込み、土の持つ力を引き出しながら、無農薬有機栽培に取り組んでいます。

「空いている畑が多くてもったいない、って言われることがあるけど、作物を消費者のペースや要望に合わせて作ると土が悲鳴をあげてしまう。土の都合を聞いて相談しながら作付けをするから、休ませる所も出てくる。」と、園主の平川さん。土の声を聞ける人って、いまだき少ないのではないのでしょうか？



大田区下丸子の平川農園。無農薬有機栽培の畑です

## まちなかに、もっと「農」や「土」に触れる場を

都立高校で「体験授業」というプログラムを取り入れている学校があります。蒲田駅徒歩7分の立地にある蒲田高校には70㎡ほどの畑が作られ、年20回の授業で、生徒たちは野菜の栽培から調理実習までを体験しています。

調理実習といってもほとんどアウトドアクッキング。夏に採れたてのキュウリを流水で冷やし、乱切りにしたものに塩を振るだけといったシンプルなものを、その分、回数多く行うように工夫しています。そうした他愛のない体験の繰り返しこそが、子どもたちの生きる力につながると考えています。子どもたちがもっと日常的に、農の風景や土に触れる機会を提供できる場を、私たちの暮らすまちなかに作っていききたいものです。

(2面に続く)



都立蒲田高校の農業園芸体験授業。秋野菜の種まきをしています

## 「武蔵野農業ふれあい公園」を訪ねて

武蔵野市に「武蔵野の農風景を、農作業を体験しながら、次世代に残して伝えていこう」というコンセプトの公園が出来たと聞いて、訪ねてみました。

畑だけだったらお隣の農地と区別がつかない風景に、管理棟になっている「長屋門」が農家の母屋の風情を醸し出しています。「農家の庭」エリアもありそこには果樹が植えられ、ハーブや草花も咲いていました。

ここは、相続が発生した農地を市が買い上げ、大部分を農地のままに公園として整備しています。さらには、この公園を管理しているのは、地元の市民団体なのです。こんな公園作りが出来たらと、うらやましく思いました。

まだ新しい公園ですが、様々な農業体験が出来るイベントが盛りだくさんに企画されていますので、季節を変えて訪ねてみたいと思います。



管理棟でもある「長屋門」の軒には、ダイコンやタマネギがぶらさがって、懐かしい風景です



堅いキャベツを割って中から蕾が出てきています。そんな力強い営みからも、元気がもらえる気がします

## 生きることは食べること

農作業のよいところは、身体をとにかく使うこと。身体を動かさないと、おいしい作物にはありつけません。

生命の営みに寄り添いながら、思い切り身体を動かして汗をかくとお腹も空いて、食べものがとってもおいしい…そんな農業体験を通して、便利な生活と引き替えに、いつしか忘れていた感性を取り戻したい、またそれを子どもたちにも伝えたい…今回の取材では、そう強く感じました。(牧野ふみよ)



ここには指導を受けながら作業をする畑と、ボランティアが共同で管理する畑があります

## E加減 de エコライフ

### トクサ(研草・木賊)で磨いてみよう!



水辺で育つトクサですが植木鉢でも充分育ちます。その字のとおり、木製品を研ぐことにも使われていて滝廉太郎は身だしなみに気を使い、トクサで爪を磨いていたとか。昔は鉛筆の芯を研いでいたという人もいます。

ツクシのように節にハカマがあるのが特徴で、トクサの茎は表皮細胞の細胞壁にケイ酸が蓄積して硬化したものだそうです。そんなトクサで、今日からピッカピカ!のエコライフ♪

**レッスン 1**…ヤカンや鍋のこびり付いた汚れや焦げ付きに悩んだことはありませんか? そんな時にトクサを使って磨いてみてください。思いのほか綺麗になります。

**レッスン 2**…次は水周りの汚れに挑戦。これは、もうトクサの力がおいに発揮できます。焦げ付きなんか問題じゃありません。キュッキュと力を入れずに磨いてください。すっきり綺麗になること請け合い。ハウロウでもタイルでもOKです。使い終わったトクサの切れ端は捨てないで、トイレの便器の水跡をこすることもお勧め。

**レッスン 3**… トクサ磨きは錆落としにも最適です。例えば指やブラシが届かない細かな場所(例えば自転車のネジなど)でも細いトクサを使えば難なく磨けます。

まだまだ磨ける処がありそうですね。色々試してみると楽しい発見がありそう!(内田秀子)

## 探検! 発見! 耳寄りみどり

### 多摩川台公園

東急多摩川駅下車、多摩川沿いの丘陵地に造られた公園で、ここは国分寺崖線の最南端に位置しています。南側の外れから公園に入ると、アジサイ園があり、北東側の斜面全体に、色々な種類が植えられています。そこを通り抜けて階段を上ると、水性植物園があり、これはかつての調布浄水場跡地の沈殿池、ろ過池を生かして造られています。この裏地が亀甲山古墳で、南側斜面には、マツ、ソメイヨシノ、エノキ、ミズキ等の大きな植木が植えられています。亀甲山古墳の丘には、アオキ、ヒサカキ、シロダモ、シラカシ等の常緑樹が生えていて、その奥には古墳展示室が設けられています。最北端の宝来山付近では、アラカシ、シラカシ、アカガシ、スダジイ等の大きな樹が見られます。この台地の森からのながめは、多摩川八景の一つになっています。昔の人々の暮らしに思いをはせながら、散策してみてもいかがでしょう?(上田志朗)

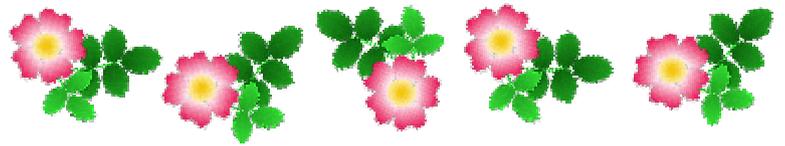
#### 【交通アクセス】

東急東横線  
東急多摩川線  
多摩川駅 徒歩1分



↑ 大田区ホームページより

# 四季の庭から



冬の土気色の庭も、春を待ちかねたように、昨秋植え込んだ球根類が元気よくみずみずしい芽をのぞかせてきました。まもなく百花繚乱の季節を迎えます。

珍しく美しい花苗を見ると、ついつい買い求め、いつしか我が庭は、思いもしないナチュラルガーデン風になってきました。テレビドラマの舞台となった「風のガーデン」のように、風や光を感じられる庭づくりを目指して励んでいます。そのためにも、宿根草を多用したいのですが、高温多湿の東京では、希望の植物がうまく育たない悩みがあります。

広い大田区ですが、ひとりでも多くの方が1本ずつでも花を植え、緑を増やし、心癒される「こんなまちに暮りたい」と思えるまちづくりを目指していきましょう。

## 【3月～4月の庭作業】

バラの手入れが済んでいなければ、多めの牛ふん、配合肥料の施肥を行います。剪定は一日も早く、四季咲き種は約2分の1(充実した芽の上)位に強剪定をし、つるバラは先端を30cmほど切り詰め、できるだけ横に誘引します。

種まきは、彼岸過ぎから適期ですが、早蒔きは我慢・・・八重桜が散る頃には安心して蒔けるようになります。

病害虫の防除には、早期予防、早期発見を心がけます。アオムシ、ヨトウムシなどは見つけ次第「テデール」(注:手で取る)が有効です。

## 【5月の庭作業】

宿根草、バラの花が満開を迎える季節。お庭拝見の適期でもあります。花壇では、春花壇から夏花壇への模様替えの季節です。

殖やしたい植物がある場合に、挿し木、挿し芽をするのに適した時季でもあります。気に入ったタネが採れば、よく乾燥させた上で冷蔵庫に保管します。今年も花盛りの季節を、存分に楽しみましょう。(川口 良夫)



↑ナチュラルガーデンを目指して



↑バラのアーチ仕立て



↑彩りは、コンテナで...

## 花とみどりの お気に入り♪

### Book



「そだててあそぼう」シリーズ  
農文協 刊  
各 1,890 円(税込)

今回ご紹介するのは、1冊の本ではなく、80巻までそろいもそろった、「そだててあそぼう」シリーズです。家庭菜園でおなじみのトマトやジャガイモから、イネやムギなどの穀物類、誰もがそだててあそべないのでは?というヤギや乳牛などの家畜まで、幅広く農畜産物をカバーした内容になっています。総ルビの上にハードカバーで、外見は子ども向けの絵本スタイルですが、中身はおとなも十分に楽しめて「へええ～」とつうなずきながら読める充実した内容になっています。イラストも豊富でわかりやすく、子どもたちと一緒に育て方や活用方法を学ぶのに最適です!子どもの頃に、こんな絵本があったらよかったなあ、と思わせるシリーズです。(牧野ふみよ)

### Shop



フィオーレの森  
川崎市高津区久本  
1-16-30  
TEL 044-866-3418

溝の口駅から徒歩5分。この地に暮らす三富家の3姉妹は、野鳥がたくさん集まるこの森の自然環境をなんとか残したいと、森を背景にレストラン、ガーデンショップを点在させた「フィオーレの森」を作りました。敷地内には、北斗七星(水の神様)の真下に位置する湧水(「新生水」と呼ばれている)が湧き出ています。また、今年2月には入口から直接、森の中に入れるように「椿の散歩道」が整備されました。森を上がっていくと「星のサロン」に着きます。まるで、神々が宿っている「気」さえ感じられる、そんな自然に囲まれたテラスで鳥のさえずりを BGMに、手作りケーキとお茶で一休みも・・・喧騒を逃れた休息の場として最適です。(内田秀子)

# 春の活動予定



昨年オープンデー。小さな花苗を植替えました



駅前花壇の植替え。大勢で賑やかな作業です。

## ◆3/14 (土) 環境フォーラム 2009 (会場: 大田区民ホールアフリコ 展示室)

「こんなまちに暮したい」をテーマに開催します。

## ◆4/5 (日) 花とみどりのつどい (田園調布せせらぎ公園 2階集会室)

「多摩川のおもしろさを知って河原の自然を楽しもう」

講師: 古屋 のり子氏(多摩川の自然研究家) 参加費: 300円(資料代)

## ◆4/8 (水) 大森南園場オープンデー 10:00~12:00 雨天決行

## ◆4/10 (金) 南久が原園場オープンデー 10:00~12:00 小雨決行

「オープンデー」では、花苗の育成活動を行います。

参加希望の方は、事務局までお問い合わせください。

## ◆4/19 (日) 田園調布せせらぎ公園 山野草育成活動

毎月第三日曜に、公園内の野草の育成活動を行っています。

## ◆5月~6月初旬 駅前花壇の植替え

ご興味のある方は、事務局までお問い合わせください。



About us...わたしたちについて...

## 大田・花とみどりのまちづくりの活動マップ

### 田園調布せせらぎ公園

・「花とみどりのつどい」を毎月第一日曜 13時~15時開催。花やみどりが大好きな人たちの交流の場となっています。

### 区民プラザ前プランター

・管理活動: 毎週木曜9時~四季折々、きれいな花を楽しめるように心がけています。

### 南久が原園場

・管理活動: 毎月第2・4金曜 10時~12時  
・地域に植えるための花苗を育てる活動もしています。

### 大森駅前花壇

・管理活動: 毎週火曜日  
冬季: 10時~(夏季: 9時~)  
・駅前だけでなく、バス通りや商店街にも花壇があります。

このマップの場所以外でも

- ◎保育園、児童館の花壇作り
  - ◎特養の樹木の剪定
  - ◎個人のお庭の手入れ
  - ◎各種セミナー、イベント協力
  - ◎学校の授業への協力
- など幅広く活動しています

### 平和の森公園

・「街山プロジェクト」として、年間を通じて様々な活動を行っています。観察会や勉強会も随時行っています。

### 大森南園場

・管理活動: 毎週水・金曜日 9:00~16:00  
・保育園児のお散歩コースや地域の方たちの学びの場にもなっています。



### 六郷土手花壇

・管理活動: 毎月最終日曜日 10時~12時  
・近隣町会の皆さんにもご協力をいただいています。

### 区役所本庁舎前プランター

・管理活動: 蒲田駅前花壇の管理作業の後に実施  
・区の玄関なので、常にきれいにと、張り切っています。

### 蒲田駅前花壇

・管理活動: 毎週火曜日9時~  
・駅前だけでなく、西口、東口のバス通りの花壇も管理しています。

お問合せは気軽に  
03-3734-7932 まで

## 会員募集中!

大田区内のあらゆるところで活動しています。花やみどりに直接触れる活動はもちろん、みどりの活動を縁の下でサポートする事務作業や、運搬のための車の運転など、さまざまな活動があります。

### 特に運転手を大募集中!!

あなたもぜひ、参加してみませんか? 体験入会も歓迎です。お問合せは右記事務局まで。⇒⇒ 入会案内と最新の会員だよりをお届けします。

## 編集後記

大田区内及び近郊で、おすすめの花とみどりのスポットがありましたら、ぜひこっそりと教えてください。もちろん、あなたのお庭の情報もお待ちしています♪ きれいに花が咲いた庭は誰かに自慢したくなるものです。ぜひ、私たちに自慢してください!(F)

発行: NPO法人 大田・花とみどりのまちづくり

〒144-0051 大田区西蒲田 7-24-7-203

tel & fax : 03-3734-7932

E-mail : npoogc@yahoo.co.jp